【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成26年3月13日(2014.3.13)

【公開番号】特開2012-231227(P2012-231227A)
【公開日】平成24年11月22日(2012.11.22)
【年通号数】公開・登録公報2012-049
【出願番号】特願2011-97071(P2011-97071)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｂ　7/06　(2006.01)
Ｈ０４Ｊ　99/00　(2009.01)
Ｈ０４Ｂ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　7/06
Ｈ０４Ｊ　15/00
Ｈ０４Ｂ　7/02　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成26年1月28日(2014.1.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＳＴＢＣ方式又はＤＳＴＢＣ方式により符号化された信号を受信する受信機において、
ＳＴＢＣ方式又はＤＳＴＢＣ方式により符号化された所定の同期信号を表すデータを記憶する記憶手段と、
前記受信した信号における前記同期信号に対応するデータが入力され、当該入力されたデータと前記記憶手段に記憶されたデータとを比較して伝搬路応答を推定する推定手段と、
を備えたことを特徴とする受信機。
【請求項２】
前記推定手段は、ＳＴＢＣ方式又はＤＳＴＢＣ方式により符号化され、それぞれ異なる送信アンテナから出力された複数の系列の信号における前記同期信号に対応するデータのそれぞれに対して伝搬路応答を推定し、いずれか１つの系列の信号の伝搬路応答を選択することを特徴とする請求項１記載の受信機。
【請求項３】
前記受信した信号は、ＳＴＢＣ方式又はＤＳＴＢＣ方式の復号器によって復号する前の信号であって、ベースバンド信号をシリアル／パラレル変換器によって変換された信号であることを特徴とする請求項１または請求項２記載の受信機。
【請求項４】
前記推定手段によって推定された前記伝搬路応答に基づいて受信周波数の制御を行う周波数制御部を備えたことを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載の受信機。
【請求項５】
ＳＴＢＣ方式又はＤＳＴＢＣ方式により所定の同期信号を含む信号を符号化して、受信機により受信させる受信方法であって、
前記受信機が、前記受信した信号における前記同期信号に対応するデータと予め記憶している符号化された前記同期信号を表すデータとを比較して伝搬路応答を推定する、

ことを特徴とする受信方法。
【請求項６】
ＳＴＢＣ方式又はＤＳＴＢＣ方式により符号化され、それぞれ異なる送信アンテナから出力された複数の系列の信号における前記同期信号に対応するデータのそれぞれに対して伝搬路応答を推定し、いずれか１つの系列の信号の伝搬路応答を選択することを特徴とする請求項５記載の受信方法。
【請求項７】
前記受信した信号は、ＳＴＢＣ方式又はＤＳＴＢＣ方式の復号器によって復号する前の信号であって、ベースバンド信号をシリアル／パラレル変換器によって変換された信号であることを特徴とする請求項５または請求項６記載の受信方法。
【請求項８】
前記推定された前記伝搬路応答に基づいて受信周波数の制御を行う周波数制御部を備えていることを特徴とする請求項５～７のいずれか１項に記載の受信方法。